

だいじょうぶ
つながる
こそだて

だっこ通信

第70号 2026. 5月発行



つながいを増やす

地域の中に、気軽に声をかけてくれる人はいますか？あいさつを交わす人はどれくらいいますか？家族や身内以外にも自分たちのことを気にかけてくれる人がいる・・・そう思うだけで何だか心強く感じますよね。子どもの社会性を育む上でも大切です、周りの温かい目があることで安心して生活することができます。ちょっとした世間話をしたり、自然な形で見守ってくれたり、何かあった時に力を貸してくれたり・・・。



児童センターに時々遊びに来てくれる親子だわ。今日も元気そうよかった。

こんにちは～



うちの前をよく通るお子さんだわ。危なくないように見守ってあげましょ。



最近見かける子だね。学校に行くようになったら、僕が登校班で連れて行ってあげたいな。

みんなで優しくしてあげようね



パパ友です。家族ぐるみでお付き合いさせてもらってます。お互い助け合っていこうね。

今度いっしょに遊んでみたいな。



ご近所さんだから仲良くしたいね



オンフーのつぶやき



人付き合いってちょっと苦手、できれば関わりたくないなあ・・・そう思うこともあるよね。ふだんの生活の中では、家族の中で何とかなっちゃうことが多いし、人間関係で悩んだり煩わしく思ったりするのはかえってストレスになる・・・。その気持ちも分かるよ。



自分では気付かないんだけど、どこかで誰かに気にかけてもらっていることってあるような気がする。ゆる～い見守りみたいな関係かな。ふだん何気なく挨拶したり顔を合わせたりしているうちに自然と知り合いになる。話し相手になっていく。子どもにとってもプラスになるよね。地域に見守られている気がするし、いろいろな人と関わることで知識や経験も広がっていく。

そんなつながりが増えていったらいいと思うんだ。

発行者：さくら市生涯学習課（担当 s.suzuki）